

# 令和6年度 学校評価書

延岡市立南小学校

4段階評価（A:期待以上 B:ほぼ期待通り C:やや期待以下 D:大幅な改善を要する）

評価項目	評価指標	南小学校		学校運営協議会委員		改善策
		自己評価	○成果 ●課題	評価	コメント	
気づき 考える子の育成	○学習規律の定着と「できる」まで教え、見届ける指導の充実 ○人権・同和教育や特別支援教育の充実、心の教育や命を大切にする教育の推進	B	○タブレット等のICT機器を効果的に活用し、「わかる・できる」を目指した授業実践に取り組んだ結果、学力の定着を図ることができた。 ○人権教育や心の教育、特別支援教育について道徳科や学校行事だけでなく、朝の活動やあったかタイム等を利用して実践することができた。 ●個別指導や特別支援教育など、一人一人に応じた指導の工夫・改善をさらに進めていく。	B	・タブレット端末を活用したより分かりやすい授業が進んでいることがよく理解できた。児童の授業に対する理解度が把握しやすくなっていると感じた。 ・子どもたちの学習態度は自然と身に付いており、授業に対する工夫・改善がよくなされていると感じた。 ・教員の人材不足の中で、個別指導や人権教育、特別支援教育など一人一人に応じた教育に力を入れていると感じた。	◇ICTを活用することで自分の意見を発言したり、考えを深めたりできるように授業改善に努めていく。 ◇命を大切にし、思いやりのある児童を育てるために教科指導と学校行事を関連させた指導を行っていく。
思いやりのある子の育成	○あいさつやきまり、無言清掃などの基本的な生活習慣の確立 ○心理的安全性の保障による自己肯定感の育成と、いじめ・不登校等に対する組織的な対応の充実	B	○あいさつや返事、無言清掃など、年間を通じて指導してきた結果、少しずつ意識した取組につながってきた。 ○日常の声かけや観察、教育相談の充実及び関係機関との連携並びにケース会議等での協議を重ねたことで、一人一人の心理的安全性の保障に努めることができた。 ●あいさつの継続化、交通安全や公園の使い方などのきまりについて繰り返し指導を行っていく。	B	・地域でよくあいさつをしている児童がいることを住民の方から聞いているので、引き続き指導をお願いしたい。 ・トイレや廊下、共有スペースが整理されていて、児童の気づきや生活習慣の構築がされているのを感じる。 ・あいさつの励行や交通安全、公園の使用方法など引き続き、学校全体で継続指導をお願いするとともに、思いやりの心を育ててもらいたい。	◇基本的な生活習慣と月目標の指導の具現化を図り、意識した取組を行う。 ◇児童会を中心に自分たちの課題を解決するための方策を考え、全校で実践していけるように指導していく。
命を大切にする子の育成	○学校施設の安全管理及び安全指導や訓練の徹底 ○保健指導の充実及び体力向上と食に関する指導の充実	B	○体育学習の充実と遊びの場の工夫、感染症や熱中症等への対策を徹底したことで、安全で健康な学校生活を送ることができた。 ○避難訓練の充実と安全点検の実施並びに早期修繕に努めたことで、安全意識を高めることができた。 ●運動できる場や時間の設定、給食指導の充実を図ることで体力向上と健康の保持増進に努めていく。	B	・校舎建て替えの中、限られたスペースの中で運動や遊びの工夫をしてもらっているの、児童の体力が維持されているのだと感じる。 ・学校施設内の安全管理及び指導はよく行われていると感じる。年間を通して快適な環境の中でのびのびと学校生活が送れている。 ・放課後や休日の過ごし方、近隣店舗での送迎など保護者と一緒になって引き続き指導をお願いしたい。	◇「自分の命は自分で守る」ための判断力を身に付けさせる指導を充実させ、保護者をはじめ、青パト隊等の関係機関と連携した取組を実践していく。
学校・家庭・地域で目標を共有し、地域とともにある学校づくりの推進	○学校運営協議会を中心とした保護者・地域との連携推進 ○学校への協力者との連携、地域素材・人材の活用及びキャリア教育等の推進	B	○学校運営協議会では、「地域みんなが顔見知り」を合言葉に、地域の方へたすきを配付し、地域とのつながりを強化することに取り組んだ。 ○青パト隊や民生委員児童委員との情報共有並びに地域素材や人材活用の充実を図ったことでキャリア教育やふるさと教育の推進に努めることができた。 ●コミュニティ・スクールの充実に向け、家庭・地域・学校の連携強化を進める必要がある。	B	・学校と地域との交流が増え、地域住民の学校に対する関心が高まり、学校へ協力的な態度が多く見受けられる。 ・若い世代や保護者がどれだけ地域の行事にかかわっていけるか積極的にコミュニケーションを図り、盛り上げていけたらと思う。 ・地域にある社会資源や人材を今後も引き続き活用してもらいたい。	◇「地域みんなが顔見知り」を合言葉に、学校から積極的に情報発信を行い、学校と家庭と地域のつながりを強化していく。 ◇地域人材（ばんぱ踊りの指導者等）を積極的に活用するよう授業計画に盛り込んでいく。